

旅行取扱状況の概観（平成28年7月分）

下記、月次取扱額は、近畿日本ツーリスト(KNT)とKNT個人旅行、クラブツーリズム、KNT北海道、KNT東北、KNT中国四国、KNT九州、ユナイテッドツアーズ、KNT商事の合算額となります。

記

海外旅行の取扱いは、学生団体は前年比149.3%と前年を大きく上回ったが、一般団体は同74.7%と前年を下回り、団体旅行合計で同92.0%と前年を下回った。企画旅行については前年比91.5%と前年を下回り、個人旅行については同97.4%と前年を下回った。

この結果、海外旅行総取扱額としては、前年比93.0%と前年を下回った。

国内旅行の取扱いは、一般団体は前年比117.0%、学生団体は同108.6%と前年を上回り、団体旅行合計で同112.8%と前年を上回った。企画旅行については前年比91.4%、個人旅行については同96.6%と前年を下回った。

この結果、国内旅行総取扱額としては、96.3%と前年を下回った。

外国人旅行は、前年比117.2%と前年を上回った。

以上の結果、ホールディングス主要会社の7月の総取扱額は前年比96.2%となり、前年を下回った。

【主要会社の状況】

1. 近畿日本ツーリスト株式会社

海外団体については、学生団体は修学旅行や留学などの取扱が増加したことにより、前年比149.3%と前年を大きく上回ったが、一般団体は前年開催の大型イベントなどの影響で、同76.0%と前年を下回り、海外団体旅行合計で同93.2%と前年を下回った。

国内団体については、一般団体はスポーツ関連やインナーインセンティブなどの取扱い人数の増加などの影響で、前年比117.5%と上回り、学生団体は修学旅行の取扱いの増加により同108.6%と前年を上回った。この結果、国内団体旅行合計で前年比113.0%と前年を上回った。

2. 近畿日本ツーリスト個人旅行株式会社

メイトについては、方面別取扱人数の状況では、中国四国および信州方面は前年を上回ったが、他の方面は前年を下回った。この結果、取扱額で前年比83.9%と前年を下回った。

ホリデイについては、テロ等の影響が続いており、ヨーロッパ方面は引き続き不調、方面別取扱人数の状況では、オセアニアおよびアジア方面が前年を上回ったが、その他の方面は前年を下回り取扱額で前年比74.7%と前年を下回った。

3. クラブツーリズム株式会社

海外旅行部門は、北欧・ロシア・スイス方面が好調に推移したが、テロの影響により他のヨーロッパ方面の不調が続き、前年比99.3%と前年から微減となった。

バス旅行を除く国内旅行部門は、北海道新幹線の開通効果が続いている北海道方面は好調であったが、他の方面は伸び悩み、前年比92.9%と前年を下回った。

バス旅行部門は、全体的に伸び悩んだが、迎賓館赤坂離宮などの新しい仕向け先のツアーが好調であり、前年比99.3%と前年から微減となった。

テーマ旅行部門は、“登山”や“あるく”などのスポーツ型のツアーがけん引し、前年比105.7%と前年を上回った。